

大樹と言う名前は家の爺さんが考えてつけて下さったのです。結婚後58年たっても子供に恵まれず、子供好きの一家に子供さえ生まれてらと思っていて矢先里親と言う事の話しが有って生まれたばかりの赤ん坊を授けられることになったのでした。今から13年前3月初めのことでした。家族は嬉しい半面心配ありましたがいろいろ話し合いも致しました。



まだ名前もついていないと言うことで爺さんが考えていたという名「大樹」にきめました。「御縁が有ってこんな山の里に来るのだから、立派な名前をつけてあげよう、大樹と言うのは病もなく立派に成長した大木で雨にも嵐にも耐えしっかり根を張り人々にやさしいまたきびしいおもい出となるものである。帯広の近くにも大樹と言う町が有りわしはいい名だと思っていた。そんなことも含めてこの名にしたい」がその通りの名をつけたのでした。その爺さんももう94才になり足腰が弱くなりましたがまだまだ頭はしっかりしています。授かった赤ん坊は本当に生まれて間もないので心配しながら大事に大事に育てました。お陰様で大病もせず今は5年生になりました。体格も堂々とし、気立てのやさしい活発な子でテレビ新聞をよくみて世界の情報もよく覚えていて、そんな話しの大好きなお爺さんにハイハイと良く言うことをきいて学校のこと友達のこと何でも教えてあげるのを爺さんもたのしそうです。

お陰様で私達も安心して畑仕事をしています。お爺さんの願いの様にこれから先、雨にも風にも負けないで、大地にしっかり立って夏は木陰を広げて多くの人を憩わせてあげる大樹のそんな心の広い人になって頂けたらと思っています。(母)

僕の名前は高橋大樹と書きまして「ひろき」と読みます。

この度、大樹町の特別住民とさせていただきます、とても光栄に思います。僕は昭和49年9月17日で満25才になります。

体重は2,900グラムとちょっと小粒の男の子でした。

雨風にも負けず、少しでも大きく健康で明るくスクスクと大きな樹のようになるように……と願いをこめて父が命名したそうです。

お陰様で病気らしい病気もせず元気いっぱい走り回る男の子でした。

僕の只一つの自慢は、小学校の時の先生に「父さんにいい名前つけてもらったな……」と言われて嬉しかった事を覚えています。

今は住んでいる所は、北方領土でも有名な納沙布岬の近くで、今は昆布とりの真っ盛りで、とても忙しく、まっ黒く日焼けして、頑張っております。これからも名前に負けなように頑張ってお生きて行きます。

大樹町が益々発展されますよう頑張っておペンを置きます。



私たち夫婦に初めて授かった子供が「大樹」でした。妻が妊娠3カ月の時に流産しそうになり、お正月を目前にして入院。一時はもう駄目と諦めたこともありましたが、その後も妊娠中毒症や逆子となったりと妻は大変でした。出産の時も陣痛でおきてもなかなか生まれず、帝王切開の寸前で無事に生まれました。お盆の8月13日が「大樹」の誕生日です。



どの親もそうであるように、私たちも、未だ男か女か分からないうちから(私は最初から男と信じておりましたが)名前つけ方の本や易学の本を買い込み、字数がどうだとか、画数がどうこうと随分色々名前を考えました。そのなかから最終

選考に残った名前が「聡太」「大介」「大樹」の三つでしたが、友人の子供の名前と同じであるとかで、最後に残った名前が「大樹」(だいき)でした。「太く大きく頼りになる大きな人になってほしい」との思いから決めました。しかし、「大」(だい)の呼び方が気になり、「だい」の点(濁点)を取る→勉強で成績が上がる。また、天を取る→天下を取るくらいの人になってほしいと言うことで「大樹(たいき)」と命名しました。

「大樹」は、今、中学3年生、高校受験に向けて毎日元気に励んでおり、テストでは一生懸命「点を取って」頑張っております。(父)

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号234

森の中の大きな樹の様に大きく、たくましくなって欲しい。そう思ってつけた名前です。

幼なじみの森君と将来結婚して子供が生まれたら、男の子は森の中の大きな樹で「森 大樹」とつけよう。女の子が生まれたら、森の中の愛らしい花で「森 愛花」とつけよう、と恋愛中はあれこれ夢をみていたものでした。8年間の交際を
実らせ、平成3年3月3日、森君と結婚、平成4年12月には、長男・大樹が誕生しました。平成8年9月には、長女・愛花が誕生し、まさに私の夢が現実のものとなりました。



大樹はこの春、小学1年生になり、愛花は自立した2才です。

この10月には3人目の子供が生まれる予定で、大樹と一緒に森の中のなににしようかと、名前をあれこれ考え中ですが、女の子の名前は決まるものの、男の子の名前は大樹以上の名前がなく、どうも決まりません。

大樹町のことは親類が住んでいることもあり、前々から知ってはいましたが、通りがかったことはあるものの、ちゃんとしたことがないので、特別住民になって以来、お父さんに行こう、行こうとせがんでいます。アウトドア大好き一家なので、赤ちゃんが生まれたら、5人で絶対行こうと思っています。

(母)

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号238

元来、競走馬好きの主人、土・日は欠かさず中央競馬の中継をTVで見えています。

その日もTVを見ていて、しだいに熱の入った主人の聲が家中に響いてきました。(平成8年6月に行われた安田記念です。)

「よし、行け!!」「よし、させ!!」「タイキ、来い!!」

「タイキ!! タイキ!! タイキ行け〜っ!!」

レースが終わってからもその馬“タイキブリザード”が2着に入り興奮状態の主人の口から、「タイキって名前いいよね!」「大樹町の“大樹”にすれば!」私も冗談半分で、「オクヤマ タイキ??」と言ってみるとこれはまた随分とはまっている名前ではないでしょうか。この名前が気に入ってすぐに画数を調べて見ると、なかなか良いことが書かれていたので男の子が生まれたら「大樹」にしようと思ったのです。

主人の両親も「奥山 大樹」って山奥にある大きな樹という意味で、とても存在感のある名前だね」と言ってくれて、主人が何げなく言った一言で名前が決まったとは大きな声では言えませんでした。

もうすぐ3才になる息子もパパに似て馬が大好きです。パパと一緒に競馬中継を見ながら、「よし!!行けー!!よ〜し!!ヤッター!!」と大声ではいしゃいでいます。たまに“タイキ”の付く馬の名を耳にすると「アレ?今、タイキって言ったね!」と喜びます。

是非、今度は大樹町のタイキファームに連れて行きたいです。

名前の由来でもある大樹町、きっと息子もこの町を好きになるでしょう。(母)



北海道帯広市の大樹さん

特別住民番号240

命名につきましては、大きな樹木と私は、名前を付けました。大きな樹木とは、人よりひととき大きく目立つ樹木だと思います。

人生の中で、一度は人より目立つ時があってもいいのではないかと思います。その時は、学生時代の時か社会人の時かは、本人しだいだと思いますが、いつかは、人より目立つ存在になってほしいものだと思います名付けました。

「大樹」は、私が思っている以上に現在、元気で活発な負けず嫌いのひととき、目立つ子に育っています。このまま元気で大きく健康に育ってくれればと思っている毎日です。

(森満)



北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号243

拝啓 先日7月23日北海道新聞を拝見し、ビックリ。ペンを取る事にしました。今から15年前、私が結婚1年位たった時の事です。私の実家が十勝で、主人と帯広の東急インで食事をしていた時の事です。たまたまかべに大樹町のポスターがはって有り、主人が大樹町ってどこに有るの。話しかから話しに花が咲いていた時の事です。(私のお腹の中には子供がいました)主人が男の子だったら大樹と名前を付けようと言い出しました。

昭和58年2月24日、無事男子出産、まよう事なく大樹町の大樹を頂き名前を付けました。今思うと生まれる前から名前が決まっていたようなものです。ぼくの名前の由来とよく聞いていた時期があります。私の実家へ帰ったついでに一度大樹町へ連れて行ったことがありました。あなたの名前はこの大樹町から頂いたのよ！生まれてから15年、この時期にこんな事もあるのだと嬉しく思い応募することにしました。(母)



北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号247

主人が帯広市拓成町出身で初めて(帯広の実家へ)行った時の広大な景色と大好きな義父と義母の心の広さ感銘を受けた私は子供ができたとわかった時から帯広近郊の土地の名を拾い集め、響きがよく呼びやすい名前という意味の下、大樹に決め出産しました。

とても好きな字体で「大樹町の大樹です」ということ大抵の人はわかってくれるので助かります。



北海道北見市の大樹さん

特別住民番号251

我家の大樹は今中学3年生です。本人に自分の名前の由来を書きなさいと言ったら、よくわからんとつれない返事です。以前に何度も話したのに…。

妊娠がわかり安定期に入った頃、主人と二人でいろいろと考えました。女の子の名前と男の子の名前をそれぞれ1つずつ考えておくことにしました。本も買って画数とかいろいろ調べましたが、結局はそういうことにはこだわらずに、親の子供に対する思いを込めようということになりました。「大樹」この名前は主人が考えました。すくすくとまっすぐに大きく成長してほしい。そういう願いが込められています。読み方は「ひろき」、「たいき」、「だいき」どれにするか迷いましたが素直に「だいき」とすることに決めました。



小高い丘に一本、大地にしっかりと根をおろし、何事にも動ぜずにどっしりと立っている。「大樹」という言葉にはそういうイメージがあります。

これから先の人生いろいろな試練があることと思います。でもそれに負けずにしっかりと成長してほしいと願っています。(母)

北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号281

普通、第一子誕生のため、名前を命名する場合、種々の本を読みあさり、画数をみたりしますが、元来ぐうたらな父親は本を買ったはいいが、テレビに夢中、又義父にもらった本(母親の名前を付けるのに参考にした。)は、床の上にほったらかし、これでは出産に間に合わない。



たまたまちんちんの付いた小猿が生まれてくると聞いていたので、「子」のつく名前は考えなくてもいいということで、一安心。

しかし、困った。名前は、「お父さんが考えて!!」と言われ、日々、プレッシャーが重く押し掛かる。転職したばかりで、仕事は夜遅くまで続く通勤時間30分が与えられた唯一の時間なのである。

さてどうしよう、ふと学生時代の友達の名前を思い出してみる。一郎や潤などの顔や頭脳を組み合わせ、これじゃダメだ。カッコはいいが運動ウンチ、運動はバツグンだが、…

やっぱり男は、大きくなくてはならない。そうだ『大』のつく名前を考えよう。そこでこれに付随する文字はどうしようと一日目の通勤時間が、過ぎて行く。翌日は、そんなことは忘れてしまい、数日が経過した。

こりゃマズイ、あっという間に期日が、ちょっと真剣になろう。

大輔・大地・大志とか有名人の名前がずらり、これでは芸がない。大きく、大きく育ったもの、太く逞しく幹になるもの、『樹』があるじゃないか、これで決まり、「大樹」で決まり。

後で知ったのだが、十勝に大樹町があった。たまたま我家は、アウトドア家族、年にキャンプを数回こなす。大樹町にあるカムイコタンキャンプ場に一度は行ってみたいと思っていたが、昨年念願のキャンプに行くことができた。広々とした大地に歴舟川の清らかな流れがある。

大樹には、少しでいいが、大樹町の様に大きく、人を包みこむように育ててほしいものだ。父として、細やかな思いを込めて。(父)